

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	摂津市立千里丘小学校 校舎整備工	階数	地上5F
建設地	大阪府摂津市千里丘	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、第二種中高層住居	平均居住人員	1,246 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,976 時間/年(想定値)
建物用途	学校,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年2月 予定	評価の実施日	2023年10月23日
敷地面積	11,378 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社内藤建築事務所大阪事務
建築面積	3,270 m <sup>2</sup>	確認日	2023年10月25日
延床面積	9,390 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社内藤建築事務所大阪事務所浪江明弘



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 太陽光発電設備やリサイクル材を採用し、環境負荷を低く抑えられる建築物となるよう配慮した。停電時の電源確保など、有事に備えた設備も確保している。		特になし。
<b>Q1 室内環境</b> シックハウス対策として、F☆☆☆☆の建材を採用するなど室内環境に配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> 配管部材は、耐用年数の長いものを採用し、維持管理に配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内には可能な限り緑化を設けたほか、敷地入口付近に樹木を計画することで、周囲に溶け込む建物となるよう配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> 建物内の設備は、LED照明など高効率設備を採用することで、建物から発生するエネルギー量の低減に努めた。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 省水器具を採用し、リサイクル材を積極的に使用するなど資源保護に努めている。	<b>LR3 敷地外環境</b> 特になし。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】	建物名称	摂津市立千里丘小学校 校舎整備工事							
	建設地	大阪府摂津市千里丘							
	用途/区分	学校(小中高)							
【評価結果】	CASBEE 総合評価				B+				
①	CO2削減				3				
②	みどり・ヒート アイランド対策				3				
③	建物の断熱性				5				
④	エネルギー削減				3				
⑤	自然エネルギー直接利用				—				
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—		—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.3	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.0	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	2.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		